

(仮称)光の森多目的広場整備概要に対するパブリックコメントの結果及び町の考え方について

(仮称)光の森多目的広場整備概要に対するパブリックコメントについては、町民の皆様から貴重なご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。ご意見に対する町の考え方をまとめましたので、公表します。

なお、いただいたご意見については、公表するに当たり、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。

1 意見を募集した期間

平成30年8月1日(水)から平成30年8月31日(金)まで

2 意見の提出状況

(1) 提出人数 3名

(2) 意見の件数 13件

3 提出された意見に対する町の対応内容の件数

番号	対応内容	件数
	ご意見を計画に反映させるもの	2件
	既にご意見の趣旨・考え方を盛り込んでいるもの	2件
	計画の考え方を説明し、ご理解いただくもの	5件
	ご意見として承り、今後の参考とするもの	4件

計13件

	質問内容	町の考え方	対応内容
1 整備方針に関して			
1	熊本での大地震は、過去にも数度あっている。防災施設の早期整備は意義のあることだと思う。	本広場の整備にご理解をいただきありがとうございます。防災対策を強化し、安心・安全なまちづくりをすることが町の責務だと考えています。	
2	当広場にはインパクトのある施設を建設すべきと感じた。例えば、総合病院、老人保健施設など。	本広場の土地は、平成19年に多目的広場用地として取得し、平成22年に仮整備して開放しました。平成27年には武蔵ヶ丘中学校の整備に伴う仮設テニスコートを設置し、また、平成28年熊本地震以降は一部を応急仮設住宅用地として利用してきました。今回、本広場を整備するに当たり、熊本地震を経て町の責務として実施すべきと考える防災機能の整備と、多目的広場としての利便性の向上の両立を図るよう、計画したところです。 町の西部地区は、住宅密集地であることや、商業施設が多く平日休日問わず来訪者があること、熊本地震の際に光の森町民センターが混雑したことなどから、本広場を空間として確保することが安全・安心なまちづくりにつながると考えています。	
3	広場全体の用途として、現在、応急仮設住宅やテニスコートがある空間は今後どうなるのか。	広場全体としての今後の整備については、被災者の生活再建支援をしっかりと行った後、今回整備する機能の効果をさらに上げられるよう、検討してまいります。	

	質問内容	町の考え方	対応内容
2 整備内容に関して			
4	手押しポンプの井戸水も飲めるようにできないか。	ポンプの利用頻度及び飲料水の品質基準の関係から、飲料水としての品質を保証することは難しいと考えています。そのため、60トンの耐震性貯水槽を設置し、飲料水として利用する計画としています。	
5	災害用パーゴラの設置に当たり、合志市の元気の森公園にあるあずまやを参考にできないか。	災害時における当広場の運用を想定すると、地域防災計画に定めるヘリポートの広さの基準(100m×100m)によりグラウンド部分を確保することは必須です。災害用パーゴラは、災害時には幕を張って個室的に使用することを想定していますので、それが可能な大きさとしています。	
6	災害用パーゴラは運用や維持管理に手間がかかるのでは不要ではないか。	災害用パーゴラは、上記のような利用のため設置します。製品の選択に当たっては、ご意見を踏まえ、運用しやすいものといたします。	
7	テニスコートに日影がないため、防災備蓄棟を東側に寄せて建設してはどうか。	防災備蓄棟は、災害時において支援物資の集配拠点として利用することから、支援物資を運んでくる10トントラックの動線や荷捌き、避難所等への配送などを考慮し、現在の配置としています。	

	質問内容	町の考え方	対応内容
8	防災備蓄棟の避難室は何人避難することができるか。 また、多くの避難者を受け入れるため、避難室の広さを2倍にし、備蓄倉庫を縮小できないか。	大規模災害時の被災者支援拠点として、備蓄倉庫の面積は、事前に用意する備蓄物資の保管量及び運ばれてくる支援物資の荷捌きなどに必要な面積を確保するため、現計画の面積が必要と考えています。 当広場は、光の森町民センターと一体的に運用することになるため、避難室の想定収容人数は、支援の必要性が高い方の利用を想定し一人当たりの面積を少し広めの畳2枚分として、24名としております。ただし、現在は、諸室の配置の見直しにより、拡大を検討しているところです。	
9	平常時、避難室は防災訓練に利用するとなっているが、講座や打合せ等で利用しても良いのではないかと。 また、シャワー室も利用者に開放していいのではないかと。	原則として、防災に関する利用を想定しています。 施設の具体的な運用については、これから検討してまいります。	
3 その他			
10	今後、大規模災害が発生した時は、公民館でも避難者を受け入れてはいいか。その際、平常時の周知が大事だと考える。	ご提案のように、町としても地区公民館の重要性を認識しています。災害時に安心して利用できるようにするため、地区公民館の耐震診断事業を始めたところです。地域において互いに支え合うことができるよう、自主防災組織の育成や防災士養成講座にも取り組んでいます。 平常時における防災行動の啓発も、より一層行ってまいります。	
11	テニスコートは水捌けが悪いと思われるので、ハードコート（ゴム加工）として整備するのはいいか。	貴重なご意見ありがとうございます。現在のテニスコートは武蔵ヶ丘中学校の整備に伴う仮設のものであり、今後の取扱いについては検討中です。	

	質問内容	町の考え方	対応内容
12	光の森町民センターの外壁や防災備蓄棟の内部にスポーツライミング施設を整備できないか。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。	
13	健康増進かつ貯水のためにプールの設置を希望する。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。	